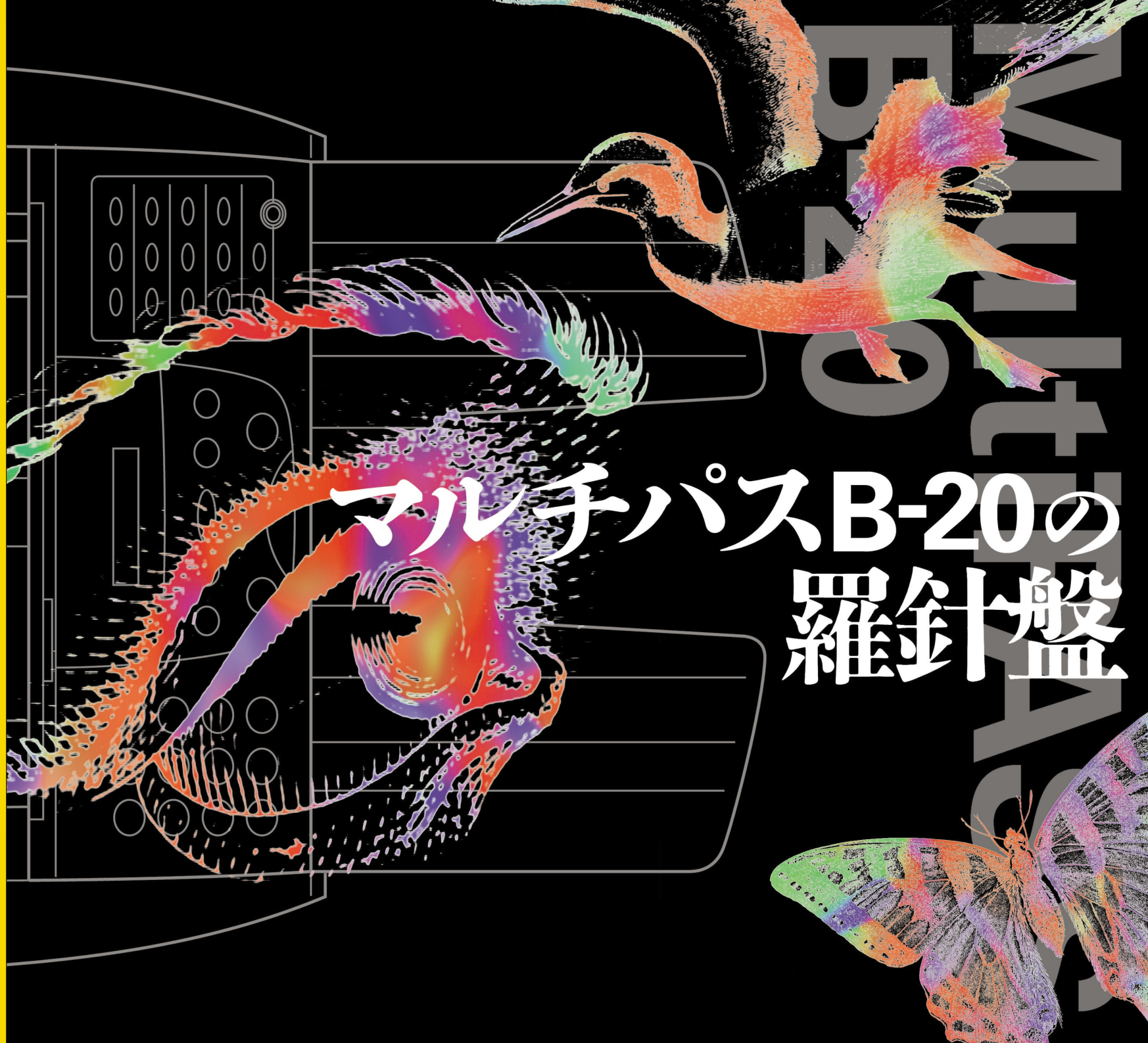
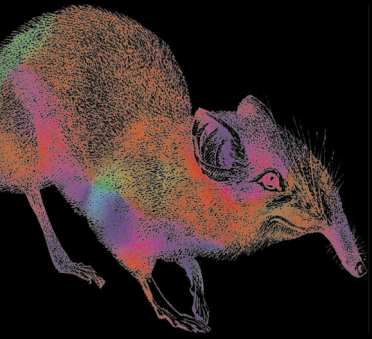
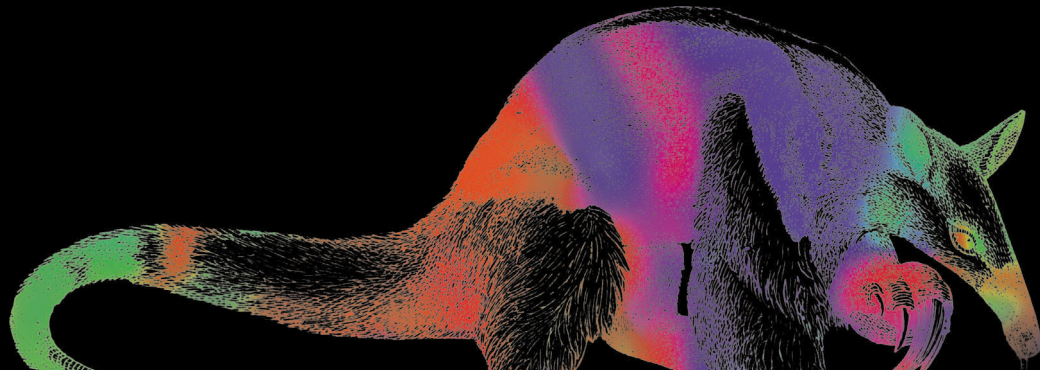
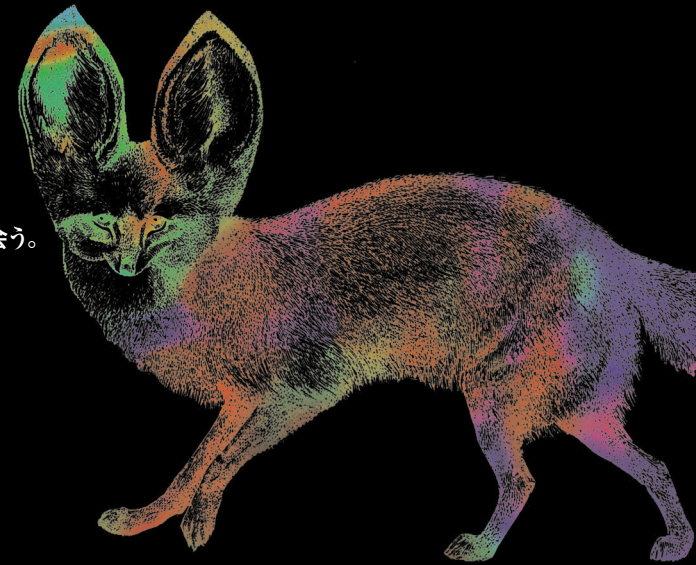
マルチパス B-20の 羅針盤

◉

最初にこの本を御覧ください

◉

これは、マルチパスB-20の使い方を、
体験しながらおぼえてもらう本です。
●マルチパスB-20を組み立てて
プリンターとして使うまでを
できるだけやさしく説明します。
●プリンターやパソコンに慣れていない人は、
時間がかかるかもしれませんが、この本を
読みながらひとつずつ進めてください。
●マニュアルなんか読むのはめんどうくさいと
思っている人や、読んでも難しくて
わからないと考えている人も、
この本なら大丈夫だと思います。
●きっと、この本がB-20を使いこなすための
羅針盤になってくれるでしょう。

はじめての海へ航海しながら、新しい島を発見し、見たこともない動物に出会う。
そういう旅をイメージしてこの本を作りました。
マルチパスB-20にはいろいろな使い方があります。
しかし、その旅はみな同じように始まります。
そして、旅を支えるのはあなたの好奇心です。

マルチパスB-20の羅針盤

はじめに

この本は、マルチパスB-20（ビーニジュウ）(以下、B-20（ビーニジュウ）と呼びます)の基本的な使い方を、体験しながらおぼえてもらうために作りました。

B-20にはいろいろな機能があります。プリンタとしての機能のほかに、カラーファクシミリ、スキャナ(パソコンに絵や写真を読みこむ装置)、カラーコピー機としての機能があります。また、受信したファクスや読みこんだ画像をデスクトップマネージャというソフトウェアで整理することができます。

　こんな多くの機能を持った製品の使い方を一度におぼえるのは至難の技です。少しずつ、使いながら慣れていくしかありません。

　プリンタやパソコンに慣れていない人は、時間がかかるかもしれませんが、この本を読みながらひとつずつ進めてください。

　マニュアルなんか読むのはめんどうくさいと思っている人や、読んでも難しくてわからないと考えている人でも、この本なら大丈夫です。

　きっと、この本がB-20を使いこなすための羅針盤になってくれることでしょう。

平湯あつし(文)／小谷充(デザイン)

目次

この本の構成

1章 B-20の組み立て

B-20を組み立てて、電源や電話回線に接続します。
1章の作業が終わると、コピーができるようになります。
また、送られてきたファクスは
受信され印刷される状態になります。

2章　写真のコピー

さっそくコピーをとってみます。
写真などのカラー原稿があれば、カラーコピーができます。

パソコンを使わないでB-20本体だけで行う操作については、
『MultiPASS B-20使用説明書』にくわしい説明があります。

3章　パソコンへの接続とファクス

パソコンと接続し、CD-ROMからソフトウェアを
インストールします。3章の作業が終わると、画像の読みこみや
印刷ができるようになります。
ファクスも送れるようになるので、その方法も紹介します。

4章　写真の読みこみと印刷

B-20とマルチパススウィートがすべて使えるようになったので、
スキャナとして画像を読みこんで、デスクトップマネージャで
表示し、印刷してみます。
パソコンを使った、画像の読みこみと印刷を体験してください。

パソコンと接続して使うときの操作については、『MultiPASS Suite使用説明書』にくわしい説明があります。

この本の読み方

章の表示と章タイトル
この本は4つの章にわかれています。
その章の目的を確認してください。

ページのタイトル
ページごとの目的が記されています。
そのページの目的を確認してください。

ページの内容

ページのタイトル

ページの内容
ページごとにおおまかな
操作の流れが記されています。
手順を読み進める前に
必ず目を通してください。

手順と解説図
解説図には、操作する部分がクリーム色に
塗られています。
手順は、頭に■がついている文章が
１ステップです。
必要なときだけ行えばいいことには
●がついています。あなたの場合に
あてはまらないときはとばしてください。
上段の3ステップを右へ読み進み、
下段の3ステップを右へ読み進んでいきます。

ページ番号
目次と対応しています。

コラム
ページの左にコラムがある場合が
あります。そのページで使われる
用語や補足説明、ヒントが
記されています。

ページ番号

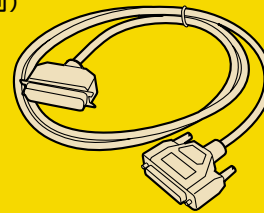
色の順位
赤い■の説明は重要です。
青い●の説明や青い字の説明はわかりにくいとき、補足として読んでください。
解説図は、そのステップで操作する部分がクリーム色に着色されています。

この本をマスターしたら
『マルチパスB-20の羅針盤』は、スタートアップガイドとして、簡潔な説明を心がけています。
この本をマスターしたら、くわしい説明書にも目を通して、マルチパスB-20をより使いこなしましょう。

準備するもの

最初にいくつか準備してほしいものがあります。
カラーコピーしたり、印刷してみたい原稿と紙、そのほかにいくつかそろえてください。

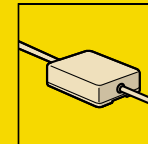
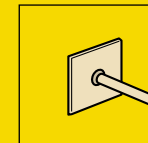
●マルチパスB-20
●写真1枚　カラーコピーをとりたいもの。（写真でなくてもよい。A4より小さいもの）
●記録用紙　インクがにじみにくいA4の紙。できれば、「高品位専用紙(HR-101S)」(A4)などのキヤノンのBJプリンタ専用紙。失敗することも考えて10枚以上準備してください。

パソコンとつないで使うとき
●パソコン　Pentium90かそれ以上のCPUを搭載したIBM PC/AT互換機
OSはWindows 98か、Windows 95か、Windows NT(サービスパック3、またはそれ以上)。32Mバイト以上(できれば64Mバイト以上)のメモリ、60Mバイト以上(できれば150Mバイト以上)の空きがあるハードディスク、256色対応のSVGA以上のモニタ、CD-ROMドライブ(ネットワーク接続でアクセスできるCD-ROMでも可)
●双方向パラレルインタフェースケーブル

B-20をコンピュータと接続するときは、2m以下の双方向パラレルインタフェースケーブルが必要です。B-20の箱にははいっていないので、B-20とは別に購入してください。「IEEE 1284」に適合しているものをお選びください。
最近売られているプリンタケーブルはほとんど「双方向」ですが、数年前までは双方向でないものが主流だったので、以前に買ったプリンタケーブルは使えない場合が多いと思います。ケーブルと差し込み口の形がぴったり合っても「双方向」でないと、B-20には使えません。

●電話回線の差し込み口はどんな形ですか?

このようなモジュラー式差し込み口であれば、とくに用意するものはありません。

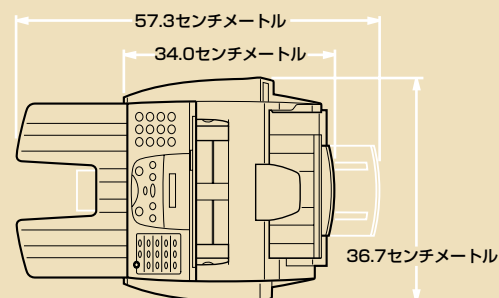
3ピンプラグ式の差し込み口につなぐときは、市販の3ピンプラグ式交換アダプタが必要です。

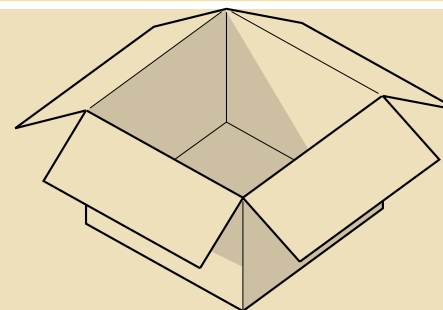
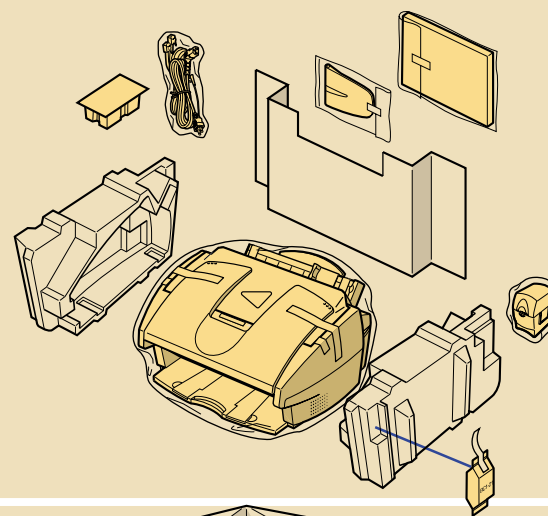
3ピンプラグ式交換アダプタ
（いろんな形がありますが、一般にこんな形です）

電話がこういうふうに接続されていて、ケーブルをはずせないときは、モジュラー式差し込み口に変える必要があります。工事には資格が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

1章
B-20の組み立て

さっそく、B-20の組み立てにとりかかりましょう。
ページをめくりながら順番に進めてください。
この章の作業を終わると、カラーコピーやファクスの
送信、受信ができるようになります。

1 B-20の組み立て

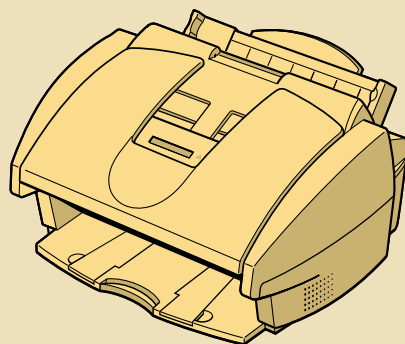
まず、置く場所を決めて、
B-20の箱の中にはいっているものを
取り出します。
B-20は、電源と電話回線とパソコンに
つながなければいけないので、
いちど置いてしまうと
あとで動かすのはやっかいです。
いい場所を確保してください。

置く場所を決めて、箱の中身を出す

高さ　28.1センチメートル／重さ　5.1キログラム

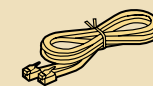
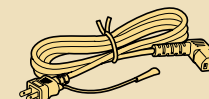
■まず、置く場所を決めます。
電源コンセント、電話の差し込み口、パソコンの近くで、この広さが確保できる場所を探してください。

ブラックインクは、発泡スチロールに貼りつけてあります。黒いインクがなくなったときのスペア(替え)のインクなので、袋を開けずにとっておいてください。

■箱を開けて、付属品や本体をひとつずつ取り出してください。
本体は5.1キログラム。取り出すときは、誰かに箱を押さえてもらうとかんたんに取り出せます。

部品を確認する

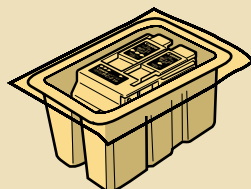
箱の中にはこんなものがはいっています。
部品の名前をおぼえる必要はありません。
はいっているかどうかを確認して、
足りないときは、
B-20を買った販売店に
連絡してください。

■これがB-20の本体です。

原稿トレイ

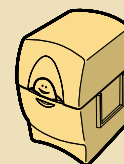
■原稿を支えるために本体に取りつけます。

モジュラージャック
コード

電源コード

■モジュラージャックコードは電話回線につなぐために、電源コードは電源コンセントにつなぐために使います。

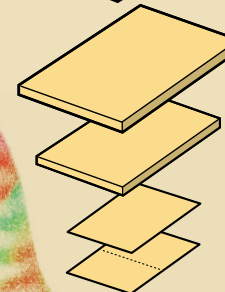
▼まだ開けない

カラーBJカートリッジ
BC-21e

▼まだ開けない

BCI-21
ブラックインク
カートリッジ

■カラーBJカートリッジは、インクを紙に吹きつけるとても大切な部品です。
ブラックインクカートリッジは黒のインクがなくなったときのためのスペアなのでインクがなくなるまで、袋を開けないでください。

BJカートリッジ
保管箱SB-21

■BJカートリッジをプリンタから取りはずしたときは、インクを出す部分が乾かないように、保管箱に入れてください。

「MultiPASS B-20」
CD-ROM
【3章で使います】
CD-ROMには、
『MultiPASS Suite
使用説明書』もはいっています。
ケースに、ソフト使用許諾契約書がはいっています。

マルチパスB-20の羅針盤(この本)

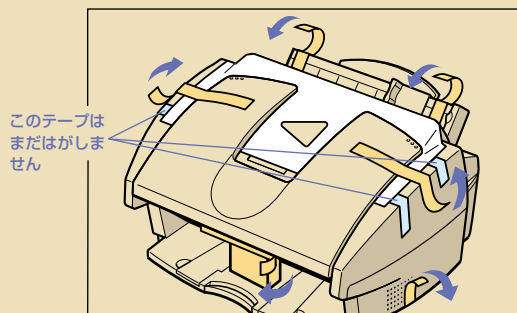
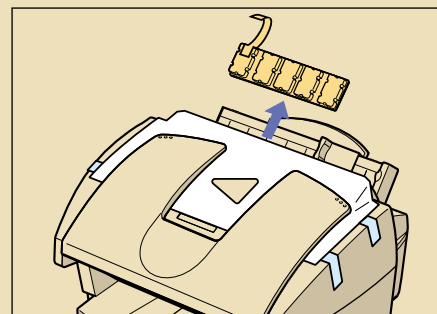
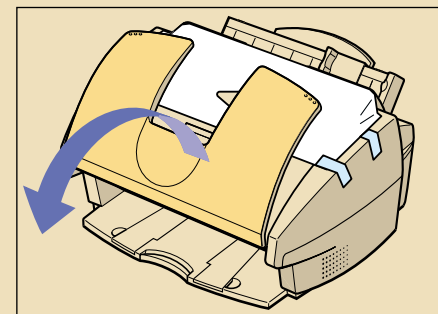
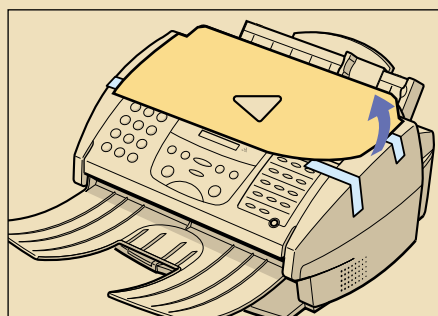
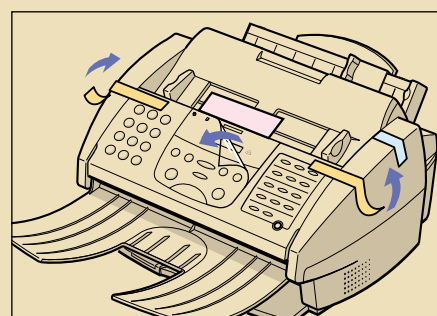
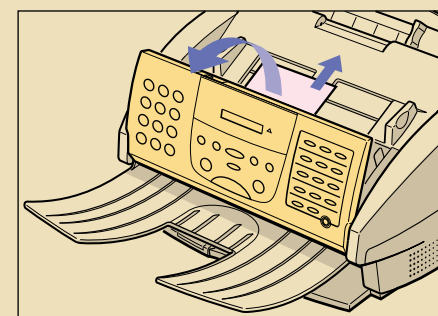
MultiPASS B-20
使用説明書

保証書

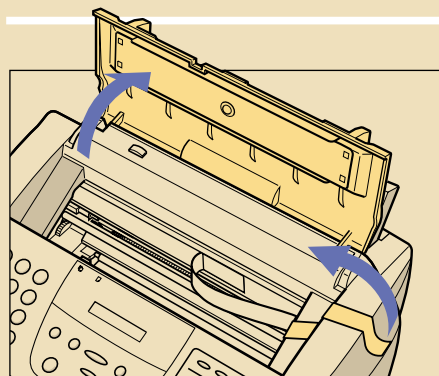
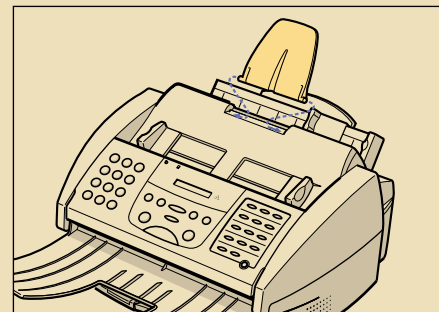
アンケートハガキ

1 B-20の組み立て

B-20はテープや梱包材に
保護されて箱にはいっています。
箱から取り出したら、
まずテープや梱包材を
はずしてください。

テープやシールをはがす

■B-20の外側に貼られているテープをはがしてください。
記録排紙口(全面下)の梱包材は、テープをはがすと、とりはずせます。

■記録紙トレイのテープをはがして、保護材をはずしてください。

■原稿排紙トレイを開いてください。

■操作パネルの保護シートをはずします。

■操作パネルを固定しているテープをはがし、中央の透明なシートをはがします。

■操作パネルの両側を持って、ゆっくりと手前に開き、保護シートを抜き取り、操作パネルをゆっくりと押して閉じてください。きちんと閉まるとカチッと音がします。

付属品を取りつける

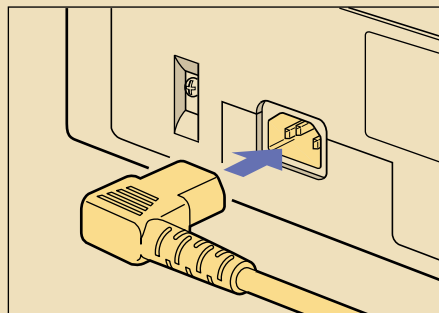
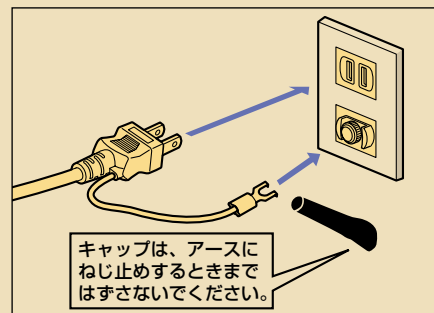
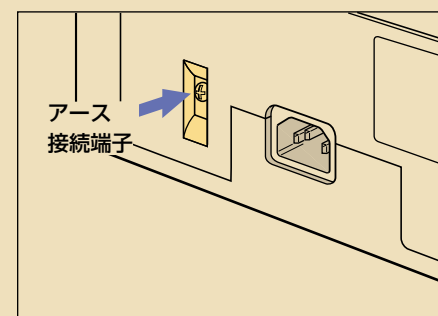
原稿や用紙を支える付属品を
取りつけてください。

■上カバーを開けて、左手でカートリッジフォルダを押さえながら、テープをはがしてください。

■原稿トレイを後ろの方にそる形に取りつけてください。穴に原稿トレイの一方の突起をはめこみ、もう一方もゆっくりとはめこみます。

●原稿排紙トレイがはずれたときは、B-20にかぶせるように、原稿排紙トレイの突起のへこみをB-20の回転軸に差しこみます。
原稿排紙トレイを閉じたときの角度に持って、上からまっすぐ下に向けて差しこみます。

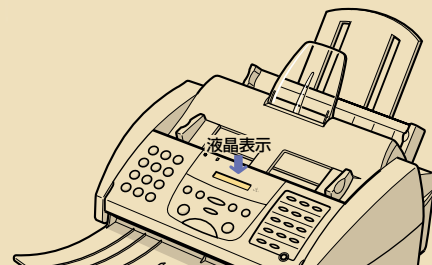
原稿と用紙
読みこむ元になる書類や写真などを、この本では「原稿」といいます。印刷するのに使う、紙やOHPシートは「用紙」といいます。用紙のことを記録用紙ということもあります。
　また、原稿や用紙をB-20の中に吸いこむことを「給紙」、吸いこんだ紙をはき出すことを「排紙」といいます。
　ここで取りつける原稿トレイや原稿排紙トレイは給紙や排紙のときに、原稿を支えるためのものです。

1 B-20の組み立て

B-20には電源スイッチがありません。
電源コードをつなぐと電源がはいります。
電源がはいってしばらくすると、
使える状態になります。

電源コードをつなぐ

■付属の電源コードの片方を、B-20の後ろ側の電源コード差し込み口に差しこみます。
電源コードは、B-20の箱にはいっています。

■電源コードには、アース線がついています。アース線は必ずアースに接続してください。

●アース線をお持ちのかたは、B-20本体のアース接続端子につなぐこともできます。

液晶に表示されるメッセージを見る

電源コードをつなぐと
B-20の中央にある液晶のところに
文字が表示されます。
ここに表示される文字(メッセージ)で、
B-20は、自分がどういう状態にあるかを
しらせてくれます。
B-20本体を操作するときは、
この液晶に表示されるメッセージを
見ながら操作してください。

シバ゛ラク オマチクダ゛サイ

■電源がはいると、B-20中央の液晶のところに「シバラクオマチクダサイ」という文字が表示されます。

03/06　　ジ゛ド゛ウ

▲今日の日付　　▲受信モード
これは、2000年の3月6日のときの表示です。まだ設定していないので正しい日付は表示されません。

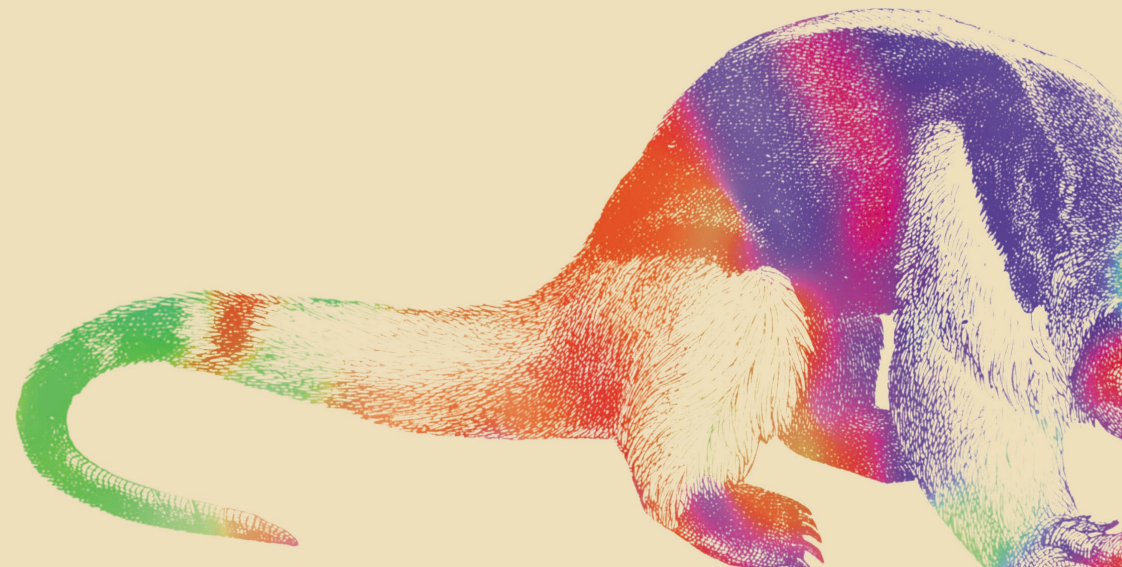
交互に表示される

カートリッジ゛ガ゛ アリマセン

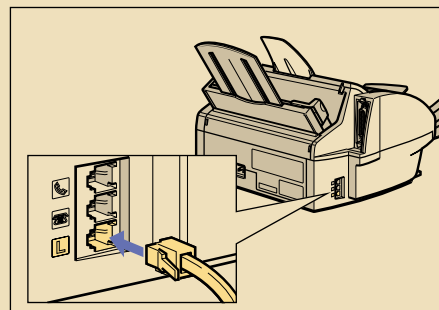
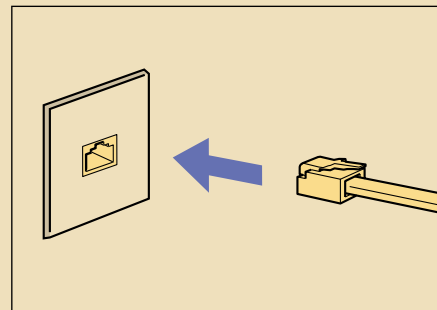
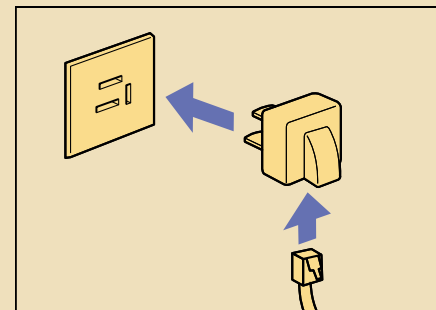
「カートリッジガアリマセン」と表示されるのは、BJカートリッジ(インクがはいった部品)をまだセットしていないからです。気にしないでください。

■しばらくすると日付と「ジドウ」という文字が表示され、「カートリッジガアリマセン」という文字と交互に表示されます。

日付
液晶には日付が表示されますが、設定を行うまで、正しい日付は表示されません。
　B-20をパソコンと接続するときは、3章の操作を行うとパソコンに設定されている日付が表示されるようになります。
　パソコンと接続しないときは、『B-20使用説明書』を見て設定してください。

受信モード
B-20に電話やファクスがかかってきたときに、どのように反応するようになっているかを受信モードといいます。
　「ジドウ」というのは、「自動受信モード」のことです。このモードになっていると、電話がかかってくると、ファクスが送られてきたものとみなして、ファクスの受信をはじめます。(ただの電話のときはファクスを受け取れないので電話を切ります)
　受信モードについては、3章で説明します。

1 B-20の組み立て

ファクスの送信、受信ができるように、B-20を電話回線につなぎましょう。
電話回線にB-20だけをつなぐとき、つまり、
電話回線をファクス専用に使うときは、このページを見てください。
今まで電話をつないでいた電話回線にB-20をつないで、電話とB-20の両方を使えるようにしたいときは、
次のページを見てください。

（A）なにもつながっていない電話回線にB-20をつなぐとき

■B-20の箱にはいっていたモジュラージャックコードの片方をB-20の左側の下のほうにある ［L］ マークの右に差しこみます。奥まで差しこむとカチッと音がします。

■モジュラージャックコードのもう片方をNTTからきている電話回線の差し込み口に差しこみます。

●3ピンプラグ式差し込み口のときは、3ピンプラグ交換アダプタを使ってください。

●電話回線につなぐとき

B-20

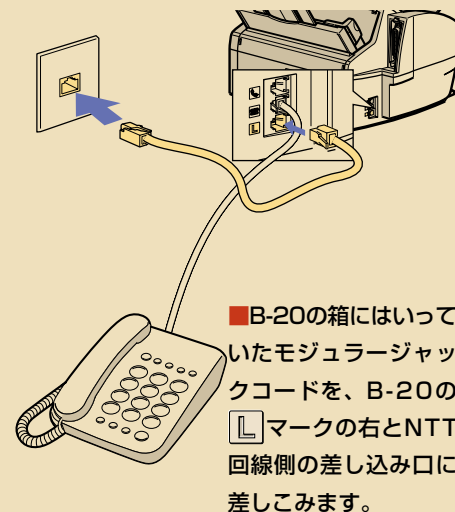
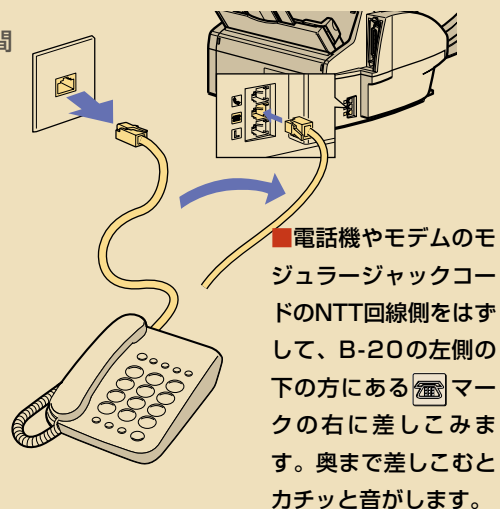
電話回線

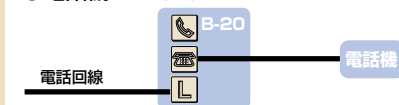
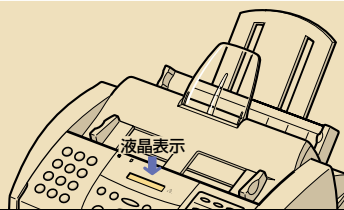
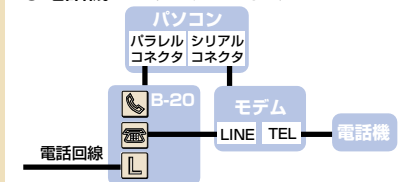
■こんな形につなぎます。

（B）電話やモデムに使っていた電話回線にB-20もいっしょにつなぐとき

今まで電話やモデムに使っていた電話回線にB-20もいっしょにつなぐときは、電話機やモデムとNTTの差し込み口の間にB-20がはいるようにつなぎます。

■電話機やモデムのモジュラージャックコードのNTT回線側をはずして、B-20の左側の下の方にある☎マークの右に差しこみます。奥まで差しこむとカチッと音がします。

■B-20の箱にはいっていたモジュラージャックコードを、B-20の L マークの右とNTT回線側の差し込み口に差しこみます。

電話機やモデムをつなぐときは、こんな形にします。B-20の L がNTT回線側、☎ が電話機側です。電話機側は 📞 につないでもかまいません。

●電話機をつなぐとき

●電話機とモデムをつなぐとき

カイセン シヨウチュウ

交互に表示される

カートリッジ ガ アリマセン

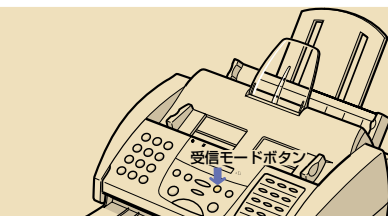
■ちゃんとつながっているかどうか確認するために、電話をかけてみてください。電話がかからないときは、つなぎ方をまちがっていると思われます。つなぎなおしてください。L がNTT回線側、☎ が電話機側です。

03/06　ジドウ

交互に表示される

カートリッジ ガ アリマセン

シュドウ ジュシン モード

■液晶には、「ジドウ」と「カートリッジガアリマセン」が交互に表示されます。この状態では電話がかかってきてもとれません。「シュドウジュシンモード」と表示されるまで、受信モードボタンを押してください。

03/06　シュドウ

交互に表示される

カートリッジ ガ アリマセン

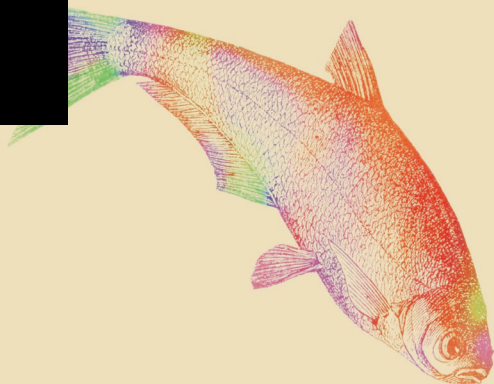
■「シュドウジュシンモード」と表示されたままにしておくと、「手動受信モード」に設定され、日付の右側に「シュドウ」と表示されます。

電話がかかってきたら受話器をとってください。ファクスのときはスタート/スキャンボタンを押します。

留守番電話サービスやキャッチホンサービス

これらのサービスを利用している電話回線にB-20を接続すると、ファクスの送受信中にエラーが起きることがあります。このようなサービスを利用しているときは、別の回線にB-20を接続することをおすすめします。

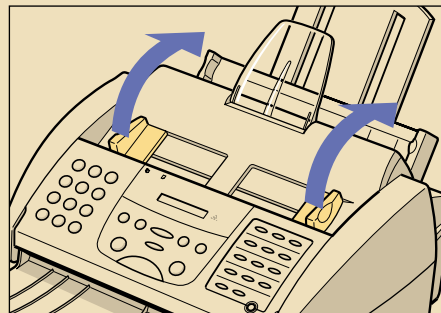
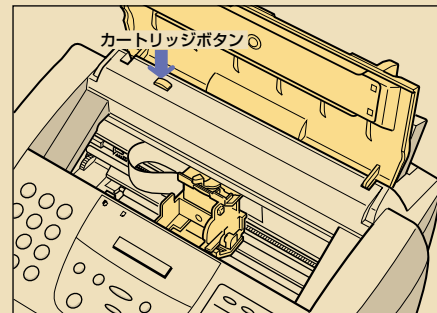
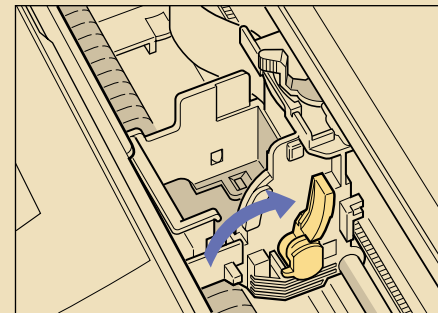
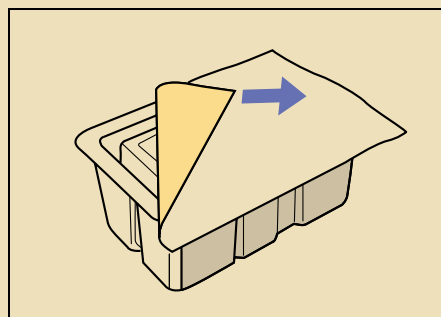
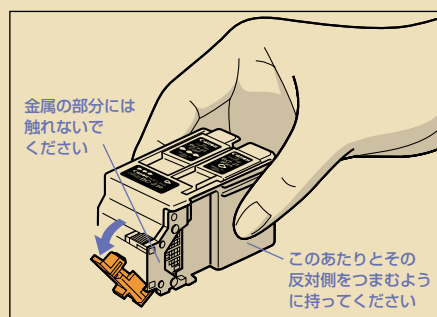
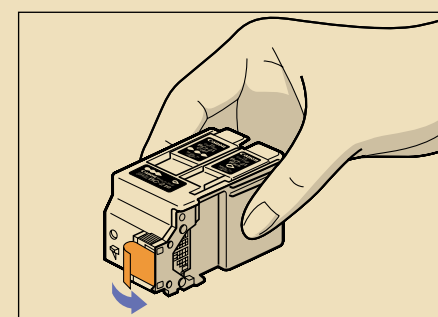
B-20の組み立て

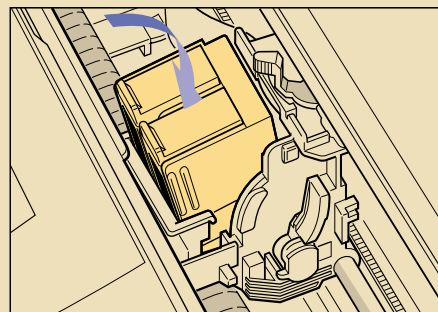
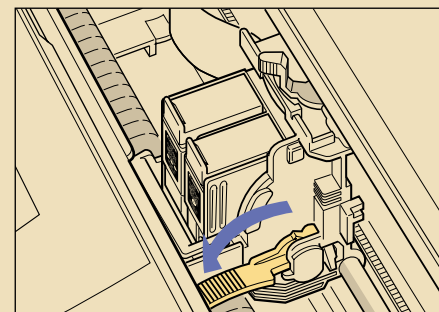
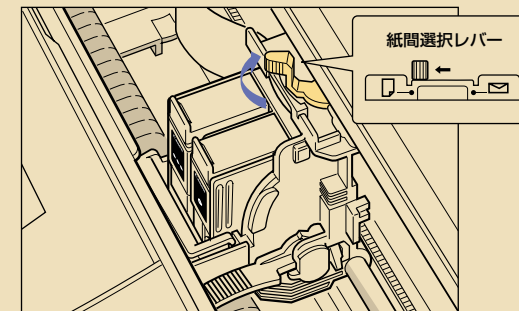
B-20の心臓部、BJカートリッジの
取りつけです。
カラーBJカートリッジの
ケースの中を見てください。
BC-21eと書いてある黒い部分が
BJカートリッジです。
その中に灰色のものが
ふたつはいっています。
左側が青と赤と黄色のインク、
右側が黒いインクです。
なくなった方だけ交換すればいいように
ふたつに分けてあります。

BJカートリッジとインク

BJカートリッジはプリンタの中でとても大切な部分なので注意してほしいことがいくつかあります。とくに重要なことがふたつ。

　ひとつは、金属の部分と、プリントヘッド(オレンジ色のシールで保護されている部分)にさわらないこと。

　もうひとつは、ケースから出したらすぐにB-20に取りつけるか、保管箱にしまうこと。外に出しておくと乾燥して使えなくなります。

BJカートリッジを取りつける(1)

■原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。
ひっかかるときは、原稿ガイドを外側にひろげてから開けてください。

■上カバーを開けたまん中にカートリッジホルダがあります。
BJカートリッジが取りつけられているときは、カートリッジホルダは右側にかくれています。(カートリッジボタン。上カバー開けたところにある青いボタン)を押すとまん中に移動します。

■カートリッジホルダの右側の青いレバーを、ゆっくり上に起こします。

■カラーBJカートリッジのケースを開けて、側面を持って取り出します。
カラーBJカートリッジは、B-20の箱にはいっています。
金属の部分には触れないように気をつけてください。

■カートリッジについているオレンジ色のプラスチックをはずします。

■オレンジ色のシールをはがします。
取りはずしたプラスチックとシールは捨ててください。またつけると、印刷できなくなります。

BJカートリッジを取りつける(2)

■カートリッジのラベルがついているほうを手前にして、カートリッジホルダに入れます。

■右側の青いレバーを止まるまで押し下げてください。BJカートリッジが右に寄って固定されます。

■紙間選択レバーの位置を左にします。

紙間選択レバーは、どんな紙かで選びます。厚い紙、封筒、バナー紙のときは右、普通は左です。

■カートリッジボタンを押します。

ピーピーと音が鳴って、カートリッジホルダが右に動き、カタカタと音がします。これはカートリッジのインクを出す部分(プリントヘッド)をクリーニングしている音です。

BJカートリッジの種類

B-20の箱にはいっているのは、「カラーBJカートリッジBC-21e」だけですが、他にもいろいろなカートリッジがあります。

もっときれいに印刷できるのが、写真用インクの「カラーBJカートリッジBC-22eフォト」。蛍光色のあざやかな印刷ができるのが、「蛍光BJカートリッジBC-29F」。

黒いインクばかり使ってしまうときは、カラーBJカートリッジのブラックインクだけ交換する方法もありますが、カートリッジを「ブラックBJカートリッジBC-20」にする方法もあります。モノクロ印刷しかできませんが、黒のインクがたくさんはいっているし、印刷のスピードも速くなります。

カートリッジホルダの位置

カートリッジホルダは、いつもは、いちばん右側の見えないところにあります。

この場所にあるときは、インクが乾かないような仕組みになっています。

印刷するときや、BJカートリッジがはいっていないときだけ、まん中に移動します。

インクを交換するときは、カートリッジボタンを押すと、まん中に移動します。もういちどカートリッジボタンを押すと右側にもどります。

組み立てを終わる

■上カバーを閉じます。

受信モードを変えていないとき（自動受信モード）

```
03/06     ジドウ
```

手動受信モードにしたとき

```
03/06     シュドウ
```

■静かになって液晶表示に日付と受信モードが表示されたらこの章の作業は終わりです。いつでも使える状態になりました。

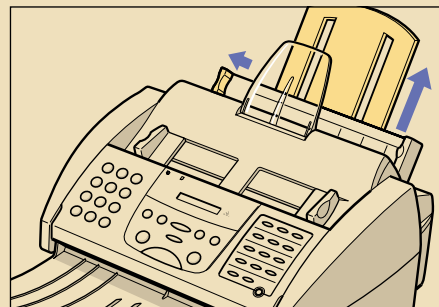
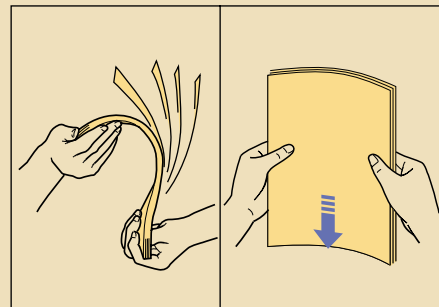
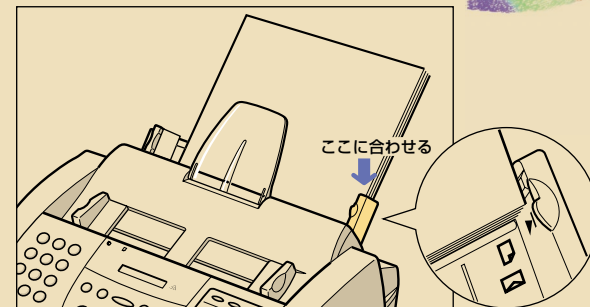
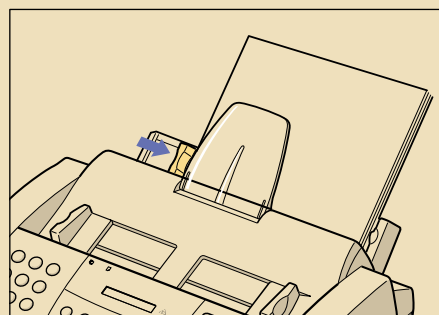
B-20の組み立てが終わったので、

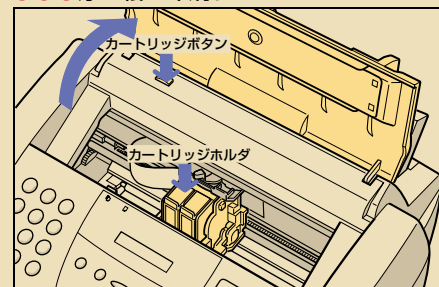
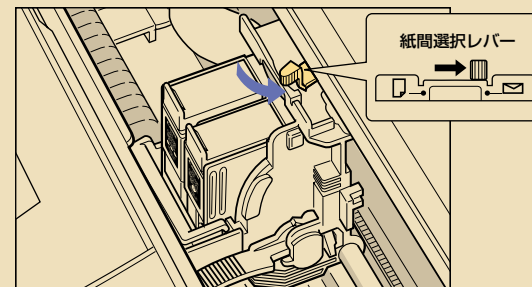
さっそく、カラーコピーをとってみましょう。

2 写真のコピー

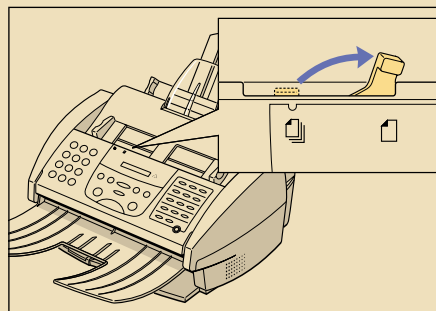
サービスサイズの写真を1枚
用意してください。
切りぬきやチラシなどでも、
幅が8〜21.6センチで、
長さが4.5センチ〜1メートルの
長方形の普通の厚さの紙なら
だいじょうぶです。
たいせつな原稿をコピーするときは、
「キャリアシート」を使ってください。

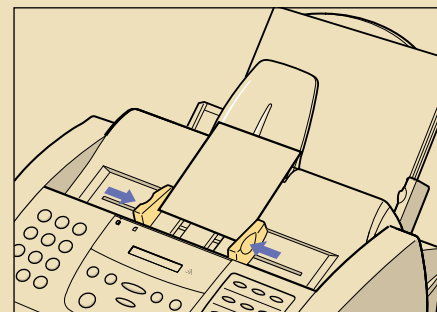
キャリアシート(BJスキャニングホルダ)
コピーやファクスのときに、原稿をはさんで読みこむためのものです。透明なシートと白いシートでできています。キャリアシートを使うと、原稿を保護することができるだけでなく、名刺などの小さい原稿や長方形でない原稿、薄い原稿もコピーできます。
　別売りなので、必要なときはB-20を買った販売店に問い合わせてください。

紙をセットする

■記録紙サポートを、止まるまで引き出し、記録紙ガイドを左に動かします。

■紙を持って、セットする方の端をさばいてから、端をトントンとそろえます。

■記録紙トレイの右端に紙の右端を合わせ、つきあたるまで差しこみます。
裏表がある紙は、印刷する面を上に向けてセットします。▲マークより上まで紙を入れることはできません。

■記録紙ガイドを紙の左端に合わせます。

●●●厚い紙に印刷するとき

●もし、厚い紙を使うときは、つぎのようにして、紙間選択レバーを右にしてください。まず、上カバーを開けて、カートリッジボタンを押し、カートリッジホルダがまん中に移動したら、

●紙間選択レバーを右に動かします。また、カートリッジボタンを押し、上カバーを閉じます。
普通の紙を使うときは、紙間選択レバーを左にしてください。

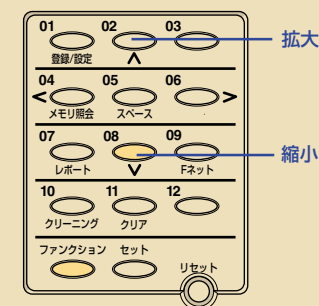
原稿をセットする

コピーの操作は、原稿と紙をセットして、
コピーボタンを押し、
スタート/スキャンボタンを
押すだけです。
カラーでコピーするか、
白黒でコピーするかは
カラー/白黒ボタンで切り替えます。
縮小コピーの縮小率は
「∨」ボタンと「∧」ボタンで
切り替えます。

■給紙レバーを右の位置に動かします。

写真やハガキなどの小さな原稿や厚い紙の原稿のとき、キャリアシートを使うときは給紙レバーを右にします。A4サイズの普通紙など、一般的な紙のときは左です。

■原稿(写真)を裏返しにして、上下逆さまに手に持ったまま、まだ奥まで差しこまないで、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

■原稿を奥まで差しこむと、ピッと音がして、液晶表示に、「メモリシヨウリョウ 0%」と表示され、つぎに「ゲンコウガアリマス」と表示されます。

■コピーボタンを押します。

■「コピー100% 01」と表示されます。「縮小率『100%』(等倍サイズ)でコピーを『1』枚とります」という意味です。

●縮小コピーしたいときは、ファンクションボタンを押して、ランプがついたら、下に「∨」と書かれたボタンを押してください。

押すたびに縮小率が90%、80%、70%と小さくなります。「∧」ボタンを押すとだんだん元に戻ります。

どんな紙を使えばいいか

B-20はインクを紙に吹きつけて印刷します。キヤノンのカラーBJ(バブルジェット)プリンタで使われている方式です。

精密な印刷では、インクの微妙なにじみも画質に大きく影響するので、きれいに印刷するために、にじみにくい紙を使います。

キヤノン製のBJプリンタ専用紙であれば、にじみにくく、色がきれいに出ます。BJプリンタと同じようにインクを使って印刷するインクジェットプリンタ用の用紙もこれに近いものです。

キヤノン製の専用紙には、OHP用のフィルムや手芸用のBJクロス、Tシャツ転写紙などもあります。ぜひ試してください。

2 写真のコピー

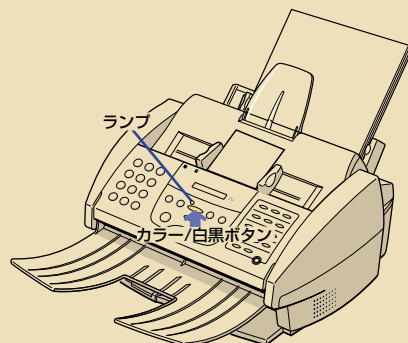
液晶に「コピー」と表示されている間に、
もういちど
スタート/スキャンボタンを押すと、
コピーが始まります。

コピーの解像度

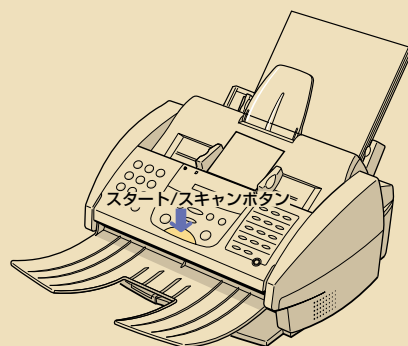
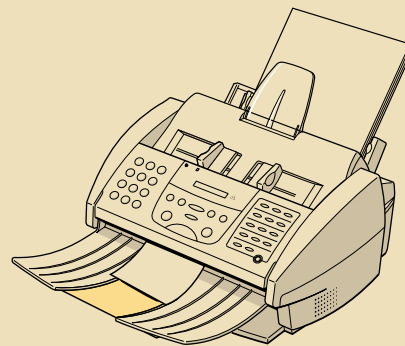
コピーの解像度は、カラーのときと白黒のときで異なります。まず、カラー/白黒ボタンでカラーか白黒を選んでから、解像度を選んでください。

　カラーコピーするときは、きれいにコピーしたければ「カラーファイン」、急いでコピーしたければ「カラーヒョウジュン」を選んでください。幅10センチ以下の原稿をコピーするときは「カラーハガキサイズ」を選んでください。（幅10センチ以上の原稿でも、縮小して幅10センチ以下にすれば、「カラーハガキサイズ」が使えます）

　白黒コピーするときは、文字だけの原稿なら「シロクロモジ」、写真などがはいっていれば「シロクロシャシン」を選んでください。

コピーする

■カラー／白黒ボタンを押すとランプがつきます。ランプがついているときにコピーをとるとカラーでコピーされます。
もういちど押すと、ランプは消えます。ランプが消えているときにコピーをとると白黒でコピーされます。

■解像度ボタンで、印刷の細かさを指定します。
解像度ボタンを押してください。いま、設定されている解像度が表示されます。

■「カラー ハガキサイズ」と表示されるまで、何回か解像度ボタンを押してください。
「カラーハガキサイズ」と表示されたら、そのままにしてください。しばらくすると、「コピー100% 01」に戻ります。

■今度は、スタート/スキャンボタンを押してください。
コピーが始まります。
「カラーハガキサイズ」を選んだときは、だいたい5分くらいかかります。

■コピーしてすぐに触るとインクが手につくことがあります。印刷されていないところをそっと持ってください。

●液晶表示に「ヤリナオシテクダサイ」と表示されたときは、うまくいかなかったときです。もういちどこの章の最初からやりなおしてみてください。

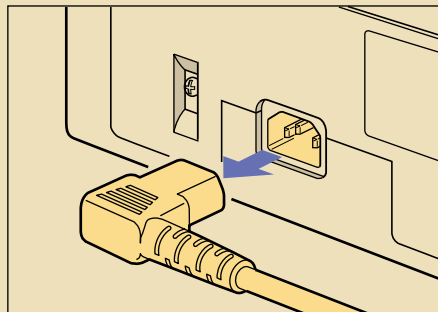
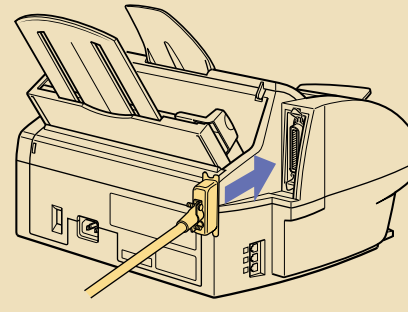
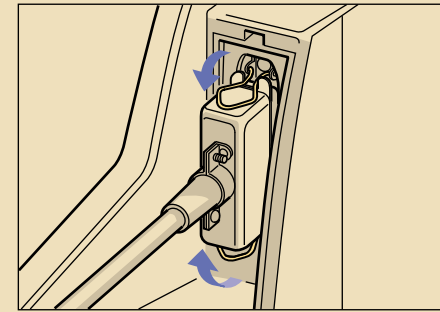
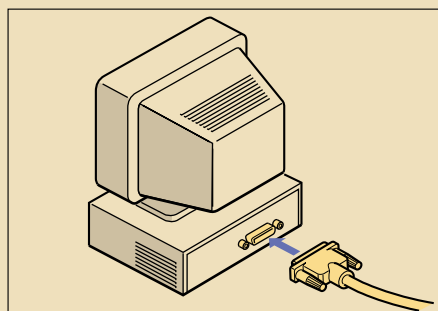
3章
パソコンへの接続とファクス

こんどはパソコンに接続して、B-20の
ソフトウェアをインストールします。
この接続とインストールが終わると、
B-20をプリンタやスキャナに使ったり、
パソコンからファクスを送ったり
できるようになります。

パソコンへの接続とファクス

パソコンとB-20は、双方向の
パラレルインタフェースケーブルで
つなぎます。
このケーブルは、B-20のパッケージには
はいっていないので、別に購入して
ください。(「準備するもの」6ページ参照)

パソコンのパラレルコネクタ
パソコンの、プリンタなどを接続する差し込み口です。や などのマークがついています。
　パラレルコネクタにZIPドライブやコピーガードなどの装置をつけた状態でB-20を使うことはできません。はずしてから接続してください。

パソコンとケーブルでつなぐ

■パソコンが起動しているときはいったん終了して、パソコンの電源を切り、B-20の電源コードも抜きます。

■パラレルケーブルを、B-20の後ろにあるケーブル接続部に、ゆっくりと差しこみます。
パラレルケーブルの先端とケーブルの接続部の形が合うように差しこんでください。上下が逆だと差しこめません。

■差しこんだら、上下の止め金で固定します。

■パラレルケーブルのもう片方の端をパソコンのパラレルコネクタ(や などのマークがついています)に、ゆっくりと差しこみます。

■差しこんだら、ネジを締めて固定します。

インストールの準備

これからの作業に必要な項目を表にしました。
あらかじめ考えて、記入してください。

■受信モードの選び方
B-20でどのようにファクスを受信するか決めます。

入力する項目	内容	記入欄
受信モード	B-20本体に電話機を接続するかどうかなど。 左の「受信モードの選び方」を見て選んでください。	どれか選んでください □留守番電話接続モード　□自動受信モード □FAX/TEL切り替えモード　□手動受信モード
あなたの「氏名」	自分の名前や所属などを半角文字24字以内で。全角文字は不可。	
あなたの「ファクス番号」	B-20本体が接続されている電話番号を半角20桁以内で。数字の他に、スペース、+、-、(、) を使えます。全角文字は不可。	
あなたの「社名」	ファクスのカバーページに社名を印刷するときは、半角文字32字以内、または、全角文字16字以内で。	
外線接続番号	一般のNTT回線に接続されているときは空欄。内線に接続されているときは外線接続番号(通常は0)を半角で。全角文字は不可。	6桁まで
受信ファクス	パソコンの電源が入っているとき、受信したファクスをパソコンに転送して保存するか、B-20本体で印刷するか。	どちらか選んでください □ファクスをアップロード　□印刷
接続した電話回線の種類	B-20本体を接続した電話回線の種類。 わからないときは、NTTの回線調べ(116)に問い合わせると教えてくれます。領収書、口座振替のお知らせでもわかります(下図参照)。	どれか選んでください □プッシュホン回線 □ダイヤル回線(20pps)　□ダイヤル回線(10pps)

NTTの領収書で回線の種類を見分ける方法
領収書、口座振替のお知らせに「プッシュ回線使用料」が記載されているときは「プッシュホン回線」。
記載されていないときは「ダイヤル回線(20pps)」を選んでください。(内線に接続したときなど、まれに「ダイヤル回線(10pps)」にしなければならないことがあります。「ハナシチュウデシタ」と表示されるときは、この設定にしてみてください)

NTTの領収書、口座振替のお知らせの例

「氏名」と「ファクス番号」は送信したファクスに印刷されます。

2000 03/24 WED 11:06 FAX 03 5482 3875 Canon FAX div..

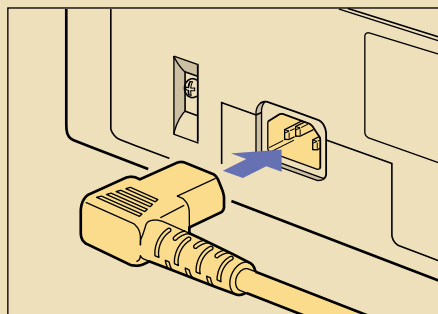
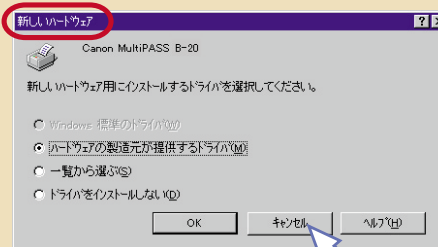
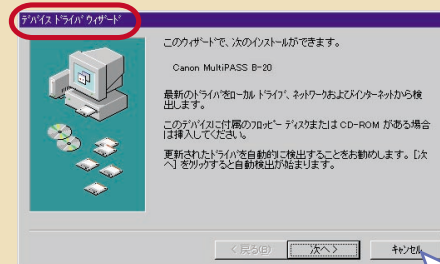
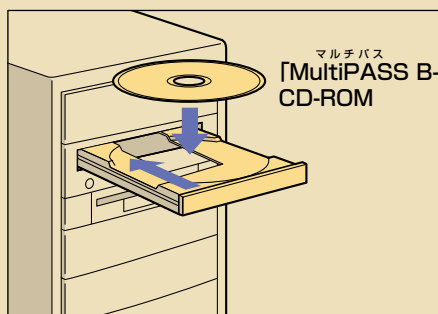
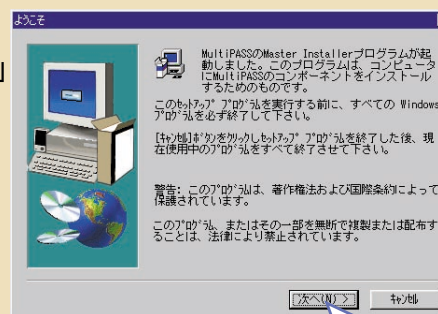
航海のお誘い

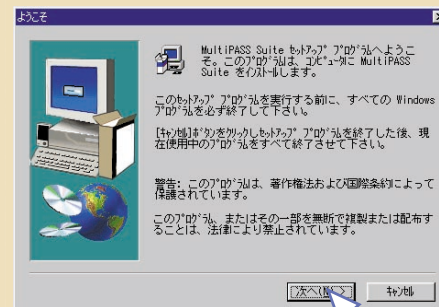
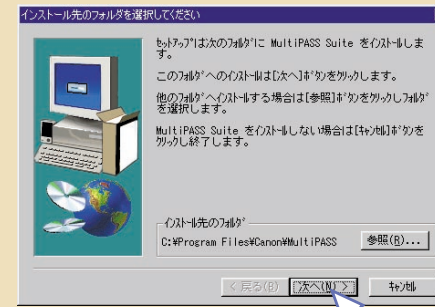
来る日曜日午後2時、新しき大陸を求めて航海に出ます。
集合場所は光の埠頭。合い言葉は「羅針盤は北を指している」。
みなさん、お誘い合わせの上、足をお運びください。

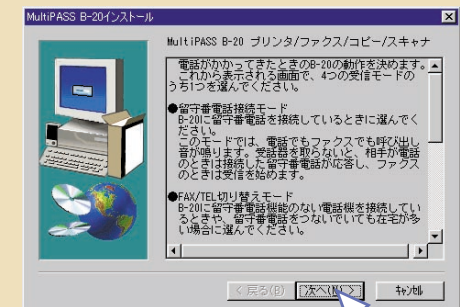
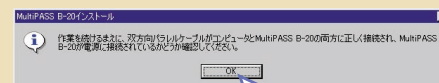
インストール
CD-ROMやフロッピーディスクにはいっているソフトウェアをパソコンのハードディスクにコピーして使える状態にすることを「インストール」といいます。

3 パソコンへの接続とファクス

B-20を使うために、
デスクトップマネージャ(Desktop Manager)やプリンタドライバ、
スキャンギア(ScanGear)を
パソコンにコピーします。
これらをまとめて
マルチパススウィート(MultiPASS Suite)
といいます。
パソコンの画面と見比べながら
操作してください。
ただ、スペースの関係で、この本には
画面の文字を読めるような
大きさでは掲載していません。
とくに注意してほしいところを
◯で囲んであります。
この先の操作は数十分かかります。
途中でやめないでください。

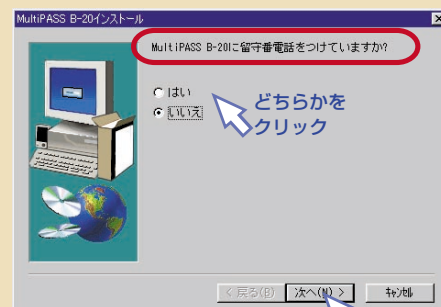
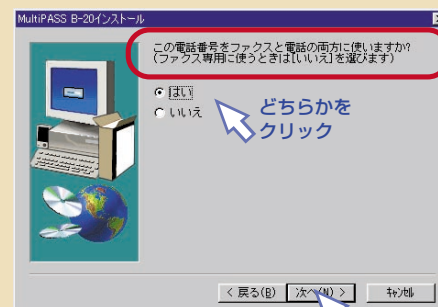
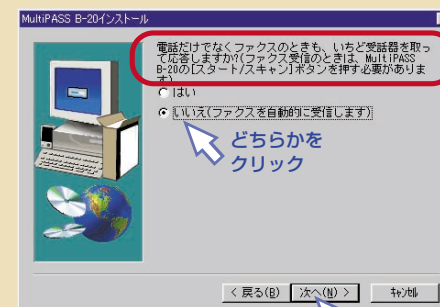
CD-ROMからソフトをインストールする

■B-20の電源コードをつなぎ、パソコンの電源を入れ、ウィンドウズを起動します。起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。

●上のように「新しいハードウェア」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてください。

●上のように「デバイスドライバウィザード」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてください。

■「MultiPASS B-20」CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
パソコンの画面で「MultiPASSのMaster Installer」と表示されます。

■「次へ」をクリックします。
つぎの画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

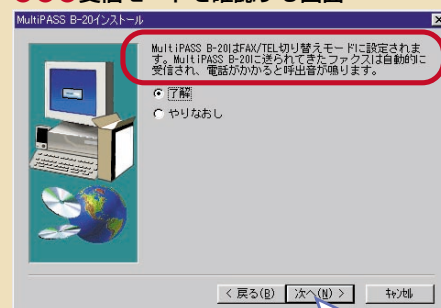
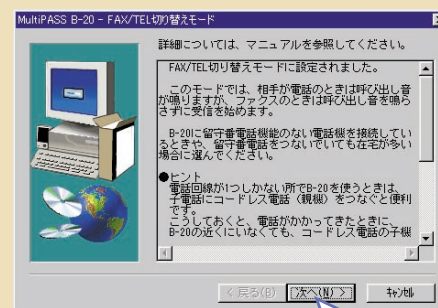
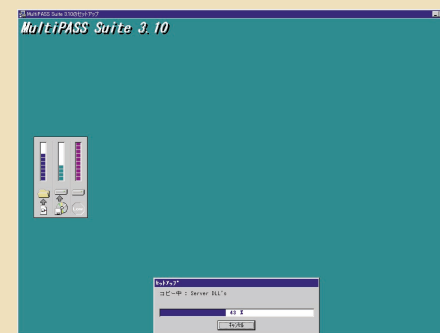
インストールを続ける

■「次へ」をクリックします。

■「次へ」をクリックします。

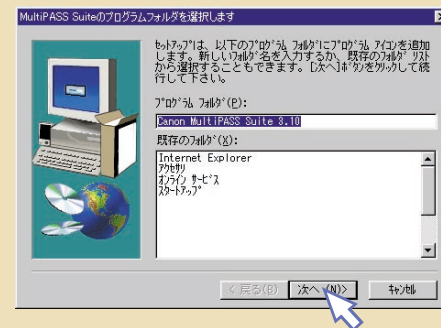
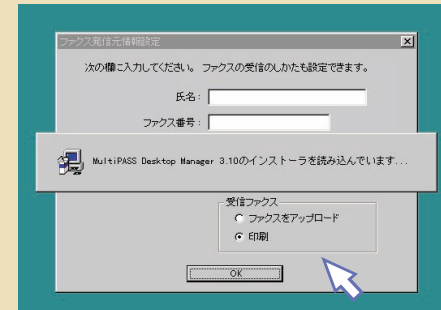
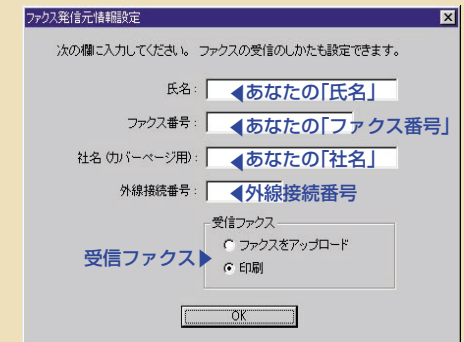
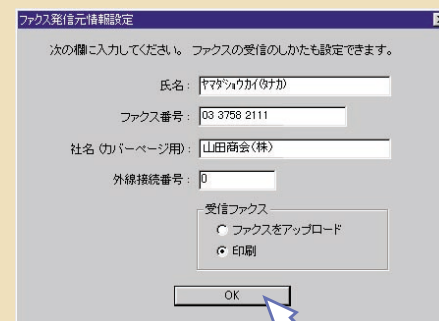
マルチパススウィートのインストール先を変えたいときは、「参照」をクリックして、インストール先を指定してから、「次へ」をクリックします。

■表示をよく読んでから、「次へ」をクリックします。

■「OK」をクリックします。

パソコンへの接続とファクス

25ページの表にしたがって設定してください。
最初は受信モードです。

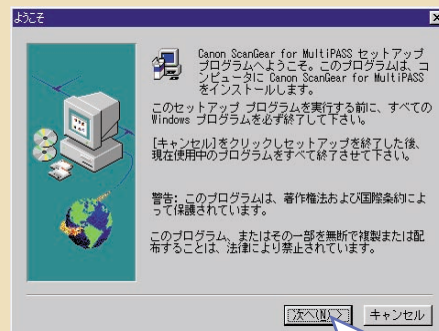
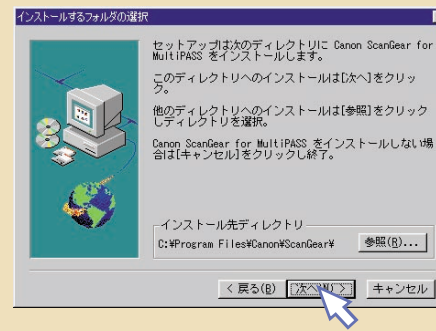
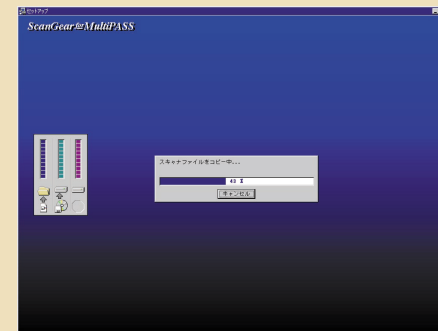
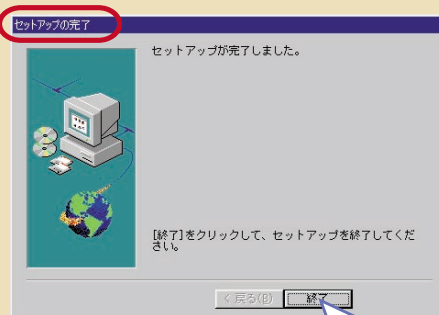
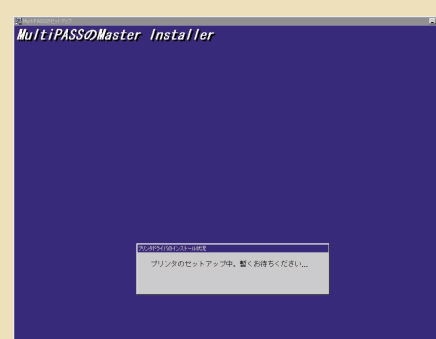
受信モードを設定する

■「留守番電話接続モード」にするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。他のモードにするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。
「はい」を選んだときは、下段●●●へ。

■「自動受信モード」にするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。
他のモードにするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。
「いいえ」を選んだときは、下段●●●へ。

■「手動受信モード」にするときは、「はい」をクリックして「次へ」をクリックします。
「FAX/TEL切り替えモード」にするときは、「いいえ」をクリックして「次へ」をクリックします。

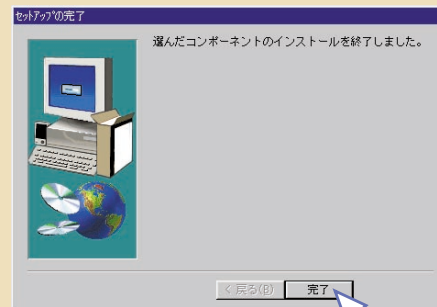
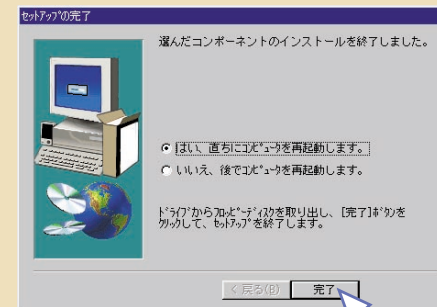
●●●受信モードを確認する画面

■表示された受信モードでいいときは「次へ」をクリックします。
他の受信モードに変えたいときは「やりなおし」をクリックして「次へ」をクリックします。
表示の内容は選んだ受信モードによって異なります。

■選んだ受信モードを確認する画面が表示されます。「次へ」をクリックします。インストールが始まります。
表示の内容は選んだ受信モードによって異なります。

■インストールしている間、こんな画面が表示されます。

発信元情報を設定する

■「次へ」をクリックします。

●上のような画面が表示されたときは、後ろの「ファクス発信元情報設定」のウィンドウをクリックしてください。

■「インストールの準備」(25ページ)の表に書きこんだ項目を入力します。
社名以外は半角文字で入力してください。

■設定したら「OK」をクリックします。

■「完了」をクリックします。

間違って設定してしまったら
間違って設定してしまったときは、インストールが終わってから、「電話回線の種類を設定する」(32ページ)の画面で変更できます。

スキャンギアとプリンタドライバをインストールする

■この画面が出るまでしばらくお待ちください。
表示されたら、「次へ」をクリックします。

■「次へ」をクリックします。
スキャンギアをインストールするドライブやフォルダを変えたいときは、「参照」をクリックして新しいインストール先を指定してから、「次へ」をクリックします。

■スキャンギアがインストールされている間、こんな画面が表示されます。

■「終了」をクリックします。

●ウィンドウズ98やウィンドウズ95をお使いの場合は、このあと、つづけてプリンタドライバのインストールが始まります。プリンタドライバがインストールされている間、こんな画面が表示されます。

インストールを終わる

■「完了」をクリックします。
インストールは、これで終わりです。

●上の画面が表示されたときは、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」の左が になっている状態で「完了」をクリックします。ウィンドウズが再起動します。
インストールは、これで終わりです。

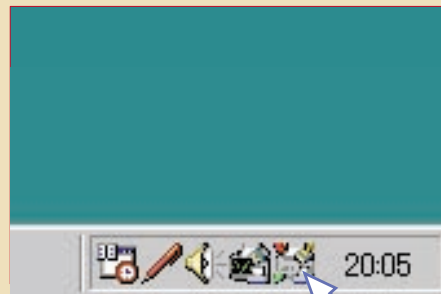
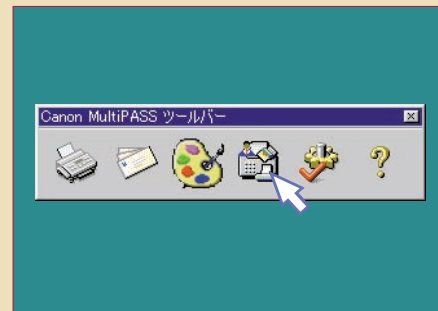
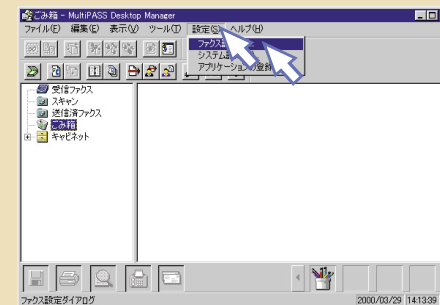
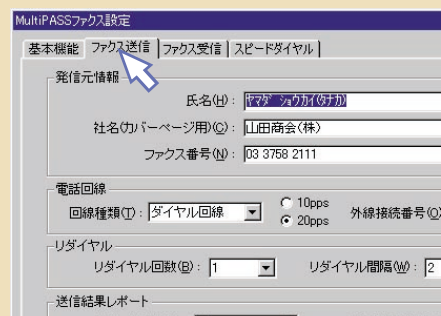
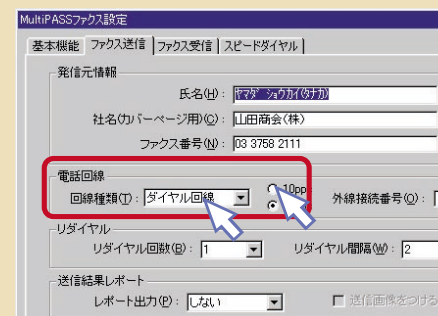
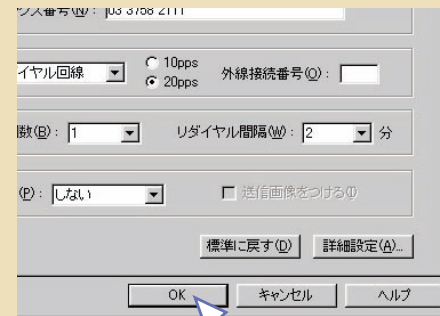
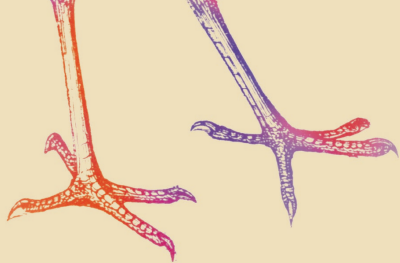
●左の画面で、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を にして「完了」をクリックすることもできます。この場合は、必ず自分で再起動してください。

自分で再起動するには
パソコンにフロッピーディスクがセットされているときは、取り出してから、画面左下の「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」(または「コンピュータを再起動する」)をクリックして、「OK」をクリックします。

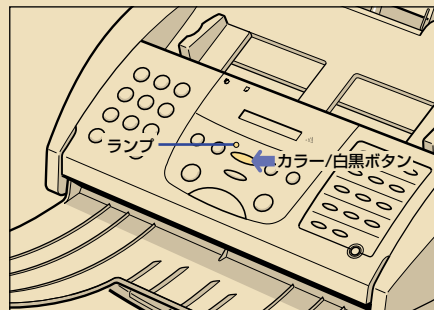
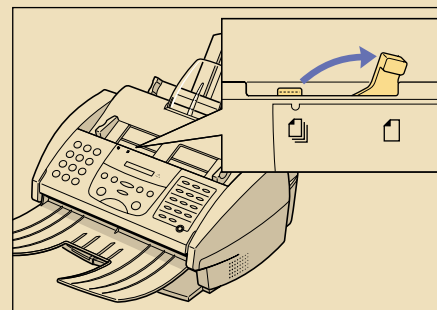
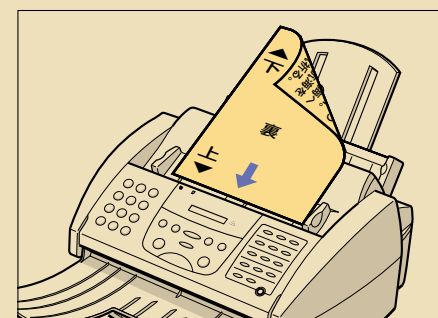
■20ppsのダイヤル回線に接続したときは、33ページに進んでください。
プッシュホン回線に接続したときと、10ppsのダイヤル回線に接続したときは、次のページに進んでください。

パソコンへの接続とファクス

電話回線の種類を設定する

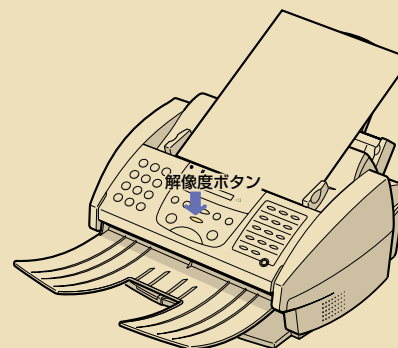
プッシュホン回線(トーン回線)に接続したときと、
10ppsのダイヤル回線(パルス回線)に接続したときは、設定を変えてください。
インストールしたときは、
20ppsのダイヤル回線に
設定されています。20ppsの
ダイヤル回線に接続したときは
変更する必要はありません。

■画面右下の　というアイコンをダブルクリックします。

■MultiPASS(マルチパス)ツールバーが表示されるので、　(デスクトップマネージャのアイコン)をクリックします。

■デスクトップマネージャの画面が開きます。この画面の上の方の「設定」をクリックして「ファクス設定」をクリックします。

■「ファクス設定」の画面が表示されたら、「ファクス送信」タブをクリックしてください。

■プッシュホン回線に接続したときは「回線種類」をクリックして、「プッシュ回線」をクリックします。
10ppsのダイヤル回線に接続したときは、回線種類は「ダイヤル回線」のままで、「10pps」をクリックします。

■「OK」をクリックして「ファクス設定」の画面を閉じます。
「セットアップの警告」という画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

カラーファクスを送る(1)

ファクスの送り方も、
ここで説明しましょう。
必要でない方は、
とばして4章に進んでいただいて
かまいません。
だれか、ファクスを送ってもいい人は
いますか?
失敗してもいいように
電話でことわってから送ってください。

B-20からカラーファクスを送れる機種
つぎの機種にはB-20からカラーファクスを送ったり
受けとったりできます。
マルチパスB-20
ファクスホンCF-H30CL

■まず、カラー/白黒ボタンを押して、カラーで送るか白黒で送るかを選びます。ランプがついているとカラーで送れます。
送信先がB-20からカラーファクスを送れる機種なら、カラーで送ってみましょう。

■給紙レバーを合わせます。
写真やハガキなどの小さな原稿や厚い紙の原稿のときは給紙レバーを右にします。
原稿がA4サイズの普通紙など、一般的な紙のときは左にします。左にすると、2枚以上セットできます。

■カラーコピーのときと同じように、原稿を裏返しにして、上下逆さまにセットしてください。

メモリ シヨウ リョウ 0%

ゲ ンコウ ガ アリマス

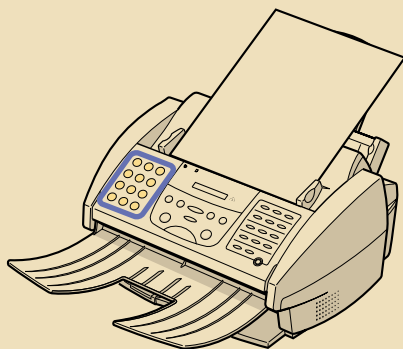
■原稿がちゃんとセットされると、ピッと音がして、液晶に、「メモリシヨウリョウ 0%」と表示され、「ゲンコウガアリマス」という表示が変わります。

■解像度ボタンで、どのくらいの細かさで送るかを指定します。
解像度ボタンを押してください。いま、設定されている解像度が表示されます。

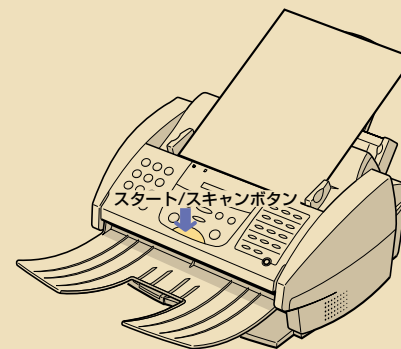
ファクス ヒョウジ ュン

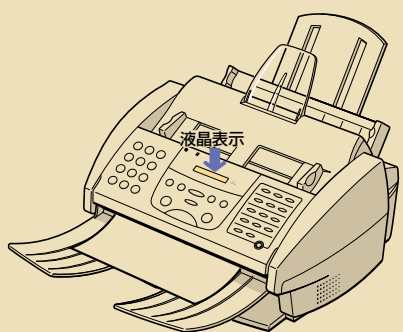
ファクス ファイン

■さらに解像度ボタンを押すと、押すたびに切り替わるので、選びたいものが表示されたらそのままにします。ふつうは「ヒョウジュン」、細かい原稿なら「ファイン」を選びます。
白黒で送るときは、このほかにハーフトーンがきれいに送れる「シャシン」があります。

ファクスの手順は、
1.原稿をセットする。
2.ダイヤルする。
3.スタート/スキャンボタンを押す。
の3ステップです。

カラーファクスを送る(2)

■左側の数字ボタンで、相手のファクス番号を順に押します。

TEL=　0337582111

■押した数字は右側から表示されていきます。

■スタート/スキャンボタンを押します。

■液晶に「ウケツケバンゴウ」、「ヨミコミチュウ」などと表示され、送信が終わると「ソウシンオワリマシタ」と表示されます。

●送信を途中でやめたいときは、ストップキーを押してください。

液晶に「ツウシンヲ チュウシ シマスカ?」、「ハイ=(＊) イイエ=(#)」と表示されたときは、「＊」ボタンを押します。原稿が途中で止まったときは、操作パネルを開いて取り出してください。

「ハナシチュウデシタ」と表示されたとき

相手のファクスが使われているとき(つまり話し中のとき)は、「ジドウリダイヤル」と表示され、2分後と4分後にかけ直して、そのときも話し中だと、「ハナシチュウデシタ」と表示され、エラー送信レポートが印刷されます。話し中でないときに送り直してください。

　回線の種類の設定が合っていないときも同じように「ジドウリダイヤル」、「ハナシチュウデシタ」と表示されます。相手のファクスが話し中でないのに「ハナシチュウデシタ」と表示されるときは、32ページにもどって他の設定にして送り直してください。

4章 写真の読みこみと印刷

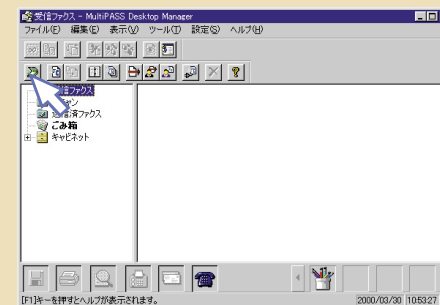
最後の大仕事にとりかかりましょう。
原稿をパソコンに読みこんで、文章もつけて印刷します。
カラーコピーとあんまり変わらないじゃないかと
思われるかもしれませんが、パソコンに読みこむ方法を
おぼえれば、それをいろんなアプリケーションで
使うこともできるし、色合いを変えたり、
形を変えたりできます。
パソコンを使いなれていないと
ちょっと骨の折れる仕事かもしれませんが、
ひとつずつじっくり取り組んでください。

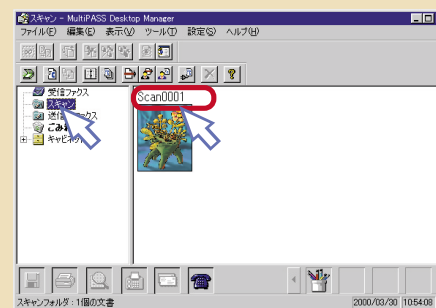
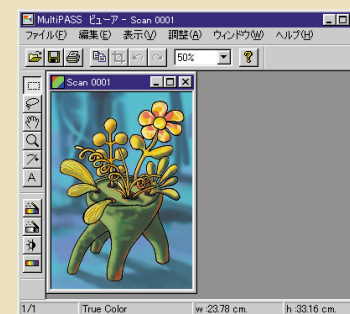
4 写真の読みこみと印刷

まず、原稿(用意した写真)を
B-20で読みこんで
パソコンに取りこみます。
インストールしたデスクトップマネージャ
(Desktop Manager)と
スキャンギア(ScanGear)が
役に立ちます。

原稿をパソコンに読みこむ【スキャン】

■カラーコピーのことを思い出して原稿(用意した写真)をセットしてください。原稿ガイドは、原稿の両わきにぴったり寄せます。
原稿が厚いときやキャリアシートを使うときは給紙レバーを右に動かします。

■パソコンで、「スタート」をクリックし、「プログラム」、「Canon MultiPASS Suite 3.10」の順に↖を合わせ、右側に表示される「MultiPASS Desktop Manager」をクリックします。

■デスクトップマネージャの画面が開いたら、左上の(スキャンボタン)をクリックします。
「ソースを選択してください」という画面が表示されたときは、「Canon MultiPASS B-20」をクリックして、「選択」をクリックしてください。

■スキャンギアが開くので、「スキャン」をクリックしてください。
B-20がウィーンとうなり声をあげて原稿を中へ引きこんでいきます。

■読みこみが終わるとスキャンギアが消えます。「スキャン」をクリックすると、右側に「Scan 0001」という今読みこんだ画像が表示されます。ダブルクリックしてください。
名前の最後の数字は読みこむたびに増えていきます。

■読みこんだ画像が画面に表示されます。この画面を「ビューア」といいます。デスクトップマネージャにはいっている画像を見るための画面です。

画像を読みこむ=スキャンする

画像を読みこむことを「スキャンする」といいます。日本語にすると「走査する」といった意味でしょうか。スキャンする装置をスキャナといいます。B-20は、パソコンから見ると、プリンタでもあり、スキャナでもあります。また、ファクシミリでもあります。

プレビューとスキャン

画像を本番として読みこむ前に、まず粗く読みこんで画像の具合いをみて、明るさや読みこむ範囲を調整することもできます。スキャンギアでは、「プレビュー」で仮読みこみを、「スキャン」で本番の読みこみを行います。「プレビュー」は何回でもできます。気に入った状態になったら「スキャン」をクリックしてください。

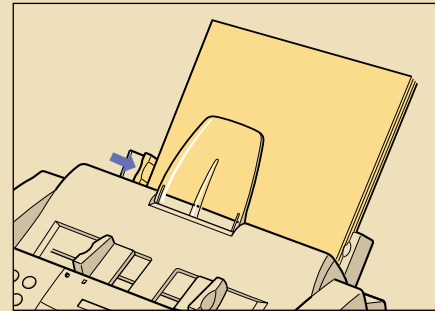
印刷する

印刷のまえに、印刷の設定が必要です。
オートパレットとBJカートリッジと
用紙を選べば
印刷できます。

Printerのプロパティ
「プロパティ」という言葉は、日本語の「設定」といった意味です。印刷に関する設定は、ここで行います。「プリンタドライバ」の設定のための画面です。わからないことがあったら、『MultiPASS Suite使用説明書』を見てください。

オートパレット
目的に合った印刷をするためには用紙や色の調整などいろいろな設定ができますが、それをいくつかの代表的なパターンから選ぶだけでいいようにしたのがオートパレットです。
　カラーBJカートリッジBC-21eや蛍光BJカートリッジ29Fを使うときにいちばんきれいに印刷できるのは「写真」です。カラーBJカートリッジBC-22eフォトでは「スーパーフォト」か「デジタルカメラ」です。

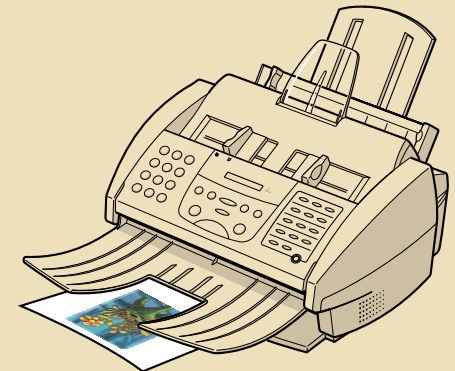
「Printerのプロパティ」画面の「BJカートリッジ」
カラーBJカートリッジBC-21e、蛍光BJカートリッジBC-29Fを使うときは「カラー」(カラー／ブラック)、カラーBJカートリッジBC-22eフォトを使うときは「フォト」(フォトカラー)、ブラックBJカートリッジBC-20を使うときは「ブラック」(カラー／ブラック)を選んでください。(カッコ内はウィンドウズNTのとき)

ウィンドウズNTのBJカートリッジと用紙の種類
ウィンドウズNTでは右の画面と少し違う画面が表示されます。BJカートリッジと用紙の種類は、「オートパレット詳細」をクリックして、表示される画面で選んでください。

■カラーコピーのときと同じように、紙をセットして記録紙ガイドを紙に合わせます。
紙をセットするときに大切なことは、そろえてキチンと置くこと、厚い紙のときは紙間選択レバーを右にすること。このふたつです。

■また、パソコンでの操作にもどります。ビューアの「ファイル」メニューをクリックして、「印刷」をクリックします。

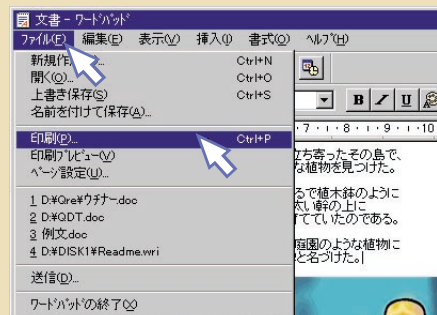
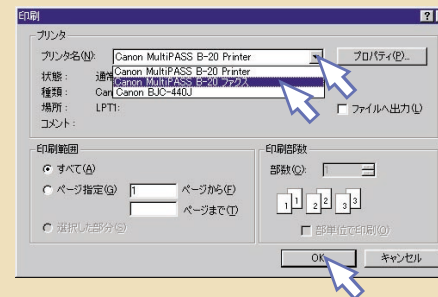
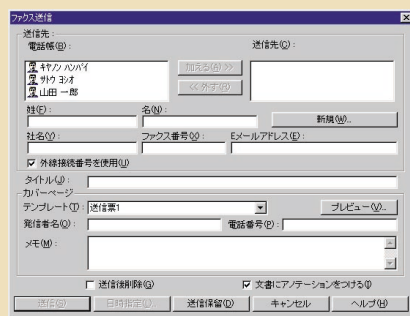
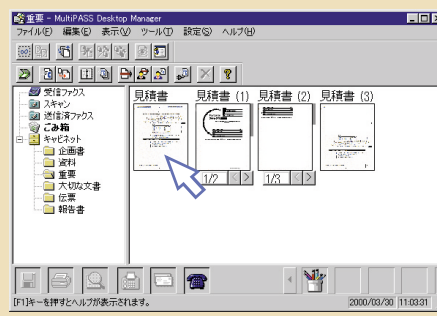
■この画面の「プロパティ」をクリックします。
この画面はウィンドウズ98やウィンドウズ95のものです。ウィンドウズNTでは、違う画面が表示されますが、同じように操作してください。

■「B-20 Printer(プリンタ)のプロパティ」画面のオートパレットの「写真」をクリックします。BJカートリッジの欄は「カラー」に、用紙の種類は「高品位専用紙」になります。普通紙に印刷するときは「普通紙」を選んでください。

■「B-20 Printer(プリンタ)のプロパティ」画面は、「OK」をクリックすると閉じます。続けて、「印刷」画面の「OK」をクリックします。
「印刷」画面が閉じ、印刷が始まります。
複数のページがある文書を印刷するときは、「ページ指定」に何ページから何ページまで印刷するかを指定することができます。

■印刷してすぐに触るとインクが手につくことがあります。印刷されていないところをそっと持ってください。

最後に、PCファクスについて
かんたんに説明しましょう。
実際に操作しないで
どんなものかだけ読んでみてください。
『MultiPASS Suite使用説明書』に、
くわしい説明があります。
PCファクスというのは、
パソコンから送ったり、
受け取ったりするファクスのことです。
ここでは、
PCファクスを送る方法として、
ワードパッドなどのアプリケーションから
送る方法と、
デスクトップマネージャから送る方法を
見てみましょう。
このほかに、マルチパスツールバーから
送る方法もあります。

PCファクスとは

●ワードパッドなどのアプリケーションから送るときは、まず送信したい文書を開きます。

●そのアプリケーションで、印刷するときに行う操作をします。ワードパッドでは、「ファイル」メニューをクリックして、「印刷」をクリックします。

●「印刷」の画面が表示されたら、「プリンタ名」の右側の ▼ をクリックして、「Canon MultiPASS B-20ファクス」をクリックし、「OK」をクリックします。

●印刷中の画面が表示されたあと、「ファクス送信」という画面が表示されます。相手の「姓」、「名」、「社名」、「ファクス番号」を入力して「送信」をクリックします。
これがアプリケーションから送る方法です。

●デスクトップマネージャには、スキャンした画像や送られてきたファクスが保存されます。これらの文書は、デスクトップマネージャから送れます。
送信したい文書をクリックして選び、

●「ファイル」メニューをクリックして、「ファクスの送信」をクリックすると、「ファクス送信」という画面が表示されるので、あとは、アプリケーションから送るときと同じようにして送ります。

あとがき

B-20のたくさんの機能のうち、この本では、カラーコピー、スキャナ、プリンタ、ファクスという4つの使い方を説明しました。

一度やっただけなので、自信がなければもう一度やってみてください。新しい発見もあると思います。

ファクスのいろいろな使い方や、デスクトップマネージャでの画像の整理のしかたなどもおぼえると便利です。他の2つのマニュアルを参考にして、挑戦してみてください。

この本は、最初から順番に読みながら体験していくものでしたが、『B-20使用説明書』と『MultiPASS Suite使用説明書』は、必要なところだけを読むように作られています。

なにをしたいかを考え、そのことが書いてあるページを、目次や索引で探して読んでください。うまくいかないときには、「困ったときは」の章も役に立ちます。

索引

あなたのはじめての航海はいかがでしたか。ここからはみんなとは違うあなたの旅が始まります。

マルチパスB-20の羅針盤
発行日 2000年2月1日第1版

構成・文 ■ 平湯あつし
造本・装丁 ■ 小谷充
企画・制作 ■ セザックス株式会社
発行 ■ キヤノン株式会社
■ キヤノン販売株式会社
261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2
電話 0570-01-9000